

報告ダイジェスト

第18回認定NPO法人ぱれっと社員総会開催報告

5月25(土)、地域交流センター恵比寿にて第18回社員総会が開催されました。今回、皆さんにわかりやすい総会の運営をという考えのもと、昨年より準備を進め、議案書、当日の進行を含めて大幅に改革しました。当日の出席者77名、委任状提出者155名で、議決権のある会員数381名(5月25日現在)の過半数となり、総会が成立、議長に理事の田口雄一さんが選出され議事を進行しました。審議結果と当日の様子についてご報告します。

【議案】第1号議案：2018年度事業報告 第3号議案：2019年度事業目標

第2号議案：2018年度会計報告 第4号議案：2019年度事業予算

※上記議案につき、議案書通りに可決されましたことをご報告申し上げます。

●総会運営の改善点

総会はぱれっと創立当時から、上記のような議案について、資料の読み合わせをし、承認を求める形で開催されてきました。その運営については、昔から長年にわたり「議案書を読み上げるだけの形式だと障がいのある人たちにわかりにくい」「決算書が年々複雑になって、自分たちの会費や寄付がどこで形になっているのかを知ることが難しい」「もう少し『聞いて理解する』という形式から『見てわかる形』へ転換を図れないか」などのご意見を多くいただきました。確かに、ここ数年は総括と事業報告だけをとっても、事業の拡大に伴い議案のボリュームが増え、資料を読み合わせする形式の総会でも時間がぎりぎりという状態が続いていました。また、1983年の創立以来、任意団体の時代を含めて、現在の形式を踏襲してきた背景があり、なかなか思い切った改革に着手できなかった面もありました。そこで、昨年の総会終了後から少しずつ検討を始め、

様々な場所で意見を聞きながら、次のような改善点を中心に進めてきました。

◆社員総会の主な改善点◆

- ①社員総会を『一年に一度、会員や支援企業など、あらゆるステークホルダーが集うイベント』として位置づけ、事業報告、決算報告とともに、お祭りの要素も盛り込んで当日運営を考える。
- ②議案書については、表紙をカラー印刷とした上で、内容も写真やグラフなどを盛り込んだものとし、会員以外の支援者、支援企業にも活動報告として見せられるようなものとする。
- ③総会当日は、事業ごとに、総括⇒事業目標⇒決算⇒予算を一気に説明し、承認を求める。また、説明にあたっては写真やグラフなどを用いた『見てわかる形』のスライドを用意する。発表は各事業責任者だけでなく他のスタッフやボランティアも登壇して発表する。

●当日の様子

総会当日は午後1時の総会開催より1時間早い正午に開場、おかし屋ぱれっと、工房ぱれっとの商品販売やぱれっと親の会が主催して下さった「ぱれチケ 2019」

(モンゴル訪問プロジェクト応援のためのチャリティチケット)の販売に加え、久しぶりにお会いする方々との話に花が咲き、総会前のひと時をゆっくりと過ごすことができました。



【スクリーンを使用した各事業の報告】

各事業の発表では、担当が作成した写真入りのスライドを用いてプレゼンテーションが行なわれ、今まで文字の資料を見ながらの議事進行だったことに比べてわかりやすくなったという事後の感想を多くいただきました。また、質問や意見も多く出され、法人の事業目標「中期ビジョンの作成」に関して、「計画では、7月にビジョン完成とあるが、最高議決機関は社員総会なのだから、最終決定は総会に諮ってからにすべきではないか」「ホームページのリニューアル作業の見通しはどのようになっているか」など、より具体的なお指摘をいただきました。

●課題

総会運営の課題としては、『決算資料をさらにわかりやすく解説するにはどうす

るか』という点が挙げられます。複数の事業を同時に行なっているぱれっとは、事業ごとの決算資料が年々複雑化しており、スライドに映し出しても数字が小さく見にくいいため、発表にさらなる工夫が必要であることが反省として残りました。

●終了後のイベント

前頁の「お祭りの要素を盛り込む」という点については今回初めて、第2部としてぱれっとハーブ教室とサンシャインダンス(ヒップホップダンス)のパフォーマンスを披露していただきました。両者とも大変素晴らしいステージで、参加者からは、



【ディズニースーツのチケットゲット!】

普段なかなか見る機会の無い演奏やダンスを見ることができてとても良かったという声も寄せられました。また、第2部最後には、親の会主催による「ぱれチケ 2019」の抽選会も行なわれ、ディズニースーツのペアチケットや韓国みやげの詰め合わせなど、当選者が発表されると会場は歓声に包まれました。

今回、総会の運営を創立36年目にして大幅に改革しました。反省を活かしつつ、今後はご寄付いただいている方々や支援企業の皆様にもお越しいただけるよう、さらに改善していきたいと思っております。

(事務局長 南山達郎)

※総会で承認されました、各事業の2019年度事業目標をお知らせいたします。

【各事業：2019年度事業目標】

事 務 局

■中期ビジョンの構築と共有をはかる

■人材確保に向けた動きを強化する

2019年度は中期ビジョンの作成とその共有を通して、職員、理事、親の会、いこっとサポートの会、たまり場ぱれっとボランティアとの共働作業を行ないます。出来上がった中期ビジョンのスローガンは、ぱれっとつうしん等で共有を図りますが、最終的には2020年度からの事業目標への反映を通して総会で説明、本格的なスタートとする予定です。人材については引き続き区内事業所や人材紹介会社との連携を深め、積極的に確保、定着、育成を図ります。

余暇活動支援事業 『たまり場ぱれっと』

■継続ボランティアの拡充・確保

引き続き運営を中心とした継続ボランティアの確保に努めます。ぱれっとの事業の中でも外部の目に触れる機会が多いが故、ボランティアとの出会いやつながりを大事に考え日々の活動に邁進します。

■自立性、社会性を育む場作り

性格や世代も様々な人々が集うたまり場では、友達作りの場である一方でトラブルも発生しやすくなります。ルールやマナーの面で配慮ある行動を参加者の皆と一緒に考え、話し合い、障がいの有無に関わらず、一人ひとりが良好な人間関係を築ける場を目指します。

障がいのある人たちを対象とした就労支援事業 『おかし屋ぱれっと/工房ぱれっと』

■おかし屋ぱれっと：『和』を大切にしながら、仕事への自覚と責任を持つ

4月より新しいメンバーも増えました。それぞれが持っている力を合わせながら、自覚と責任を持ち、相手を尊重し仕事が進められるよう、チームワークを大切にしていきます。

■工房ぱれっと：『著作権保護』『情報の発信』『外部とのつながり』

工房ぱれっとの製品が作者固有の作品として認められてきた経緯から、著作権保護の仕組みを整備していきます。また、SNS等、インターネットでの情報発信を新たに始め、国内外に情報に発信していくことで、活躍の場を広く求めます。そのためには外部の協力者との連携を大切にしていきます。



障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス運営事業
『えびす・ぱれっとホーム/しぶや・ぱれっとホーム』

- グループホーム、緊急一時、短期入所の各サービス事業について、職員体制及び事業運営について抜本的な見直しと、今後の見直しを立てる
- ▶運営に係る利用料並びに実費費用の見直し：人件費の高騰に対する対応や修繕費積立も必要なため、2019年度は1993年の開所当初から同額で維持してきた利用料等を見直します。
- ▶運営体制の見直しと役割の分散化：これまでの職員募集を見直し、仕事や役割を分散化した上で必要な人員の募集をかけます。
- ▶職員一人ひとりに即した研修を実施し、同時にアルバイトとの連携強化のため、丁寧な関係づくりや情報共有の仕方を見直します。
- ▶短期入所事業について：事業目的の文章化を目指し、在り方そのものの整理のため、検討を継続します。
- ▶緊急一時保護事業について：利用率低迷の原因を探るため、利用者家族との意見交換会を実施します。また今後の渋谷区における緊急一時保護事業の必要性と役割について、区並びに関係事業所との意見交換を、引き続き実施し検証します。

障がいのある人たちを対象とした国際支援事業
『ぱれっとインターナショナル・ジャパン』（PIJ）

- 海外の活動団体とのつながりを深める
- 今後のPIJのあり方を再考する

1991年にスリランカから始まったぱれっとと海外のつながりは、現在アジアを中心に9か国との交流、支援に発展しました。2019年度はモンゴルでぱれっとと現地の団体との共同企画を9月に開催、モンゴルの福祉の発展に寄与すると同時に、日本の障がいのある人たち自らが国を越えて活躍することによって彼らの自信や成長につなげていきたいと思っています。また、2020年にはPIJの代表交代を予定しており、2019年度はその準備段階としてPIJのあり方を再考する一年にしたいと思っています。

『ぱれっとの家 いこっと』

- 10年間の取り組みを振り返り、運営体制を見直し、今後の方向を見出す

2019年度に10年目を迎えるいこっとの取り組みを振り返り、特に障がいのある方や親御さんに向けて、いこっとを暮らしの選択肢のひとつとして考えられるような発信を強化したいと思っています。同時に事業の継続性を確保するため、収益性の向上も目指していきます。2019年度は担当職員も変わり、新たな体制でのスタートになります。サポートの会についても、役割を再定義し、新たなメンバーの参加も視野に入れながら議論を重ねていきたいと思っています。